

## 令和7年度 上山市キャッシュレス決済ポイント還元事業実施報告書（概要）

### 目的

上山市キャッシュレス決済ポイント還元事業は、キャッシュレス決済への移行促進を行うとともに、原材料費・電気料金・燃料費等の高騰を受け低迷する市内経済、特に中小企業及び小規模企業者に対する消費喚起を目的とする。

### 総事業費

**76,049,835 円**（ポイント還元分、キャンペーン事務局費、広報費、その他）

### キャンペーン内容

キャンペーンタイトル	上山市キャッシュレス決済ポイント還元事業 『上山市にごぞってえ！キャッシュレスで最大10%戻ってくるキャンペーン 第四弾』
実施期間	令和7年10月10日(金)～12月31日(水)まで
対象決済	au PAY 残高・dポイント・PayPayポイント・楽天ペイポイント（※楽天ペイは2025/11/30まで）
対象者	上山市内対象店舗の利用者(市内在住は問わない)
特典の制限事項	決済額の最大10% 1回あたりの付与上限：1,500円 期間あたりの付与上限：15,000円 ※利用者の各社ID単位で計算を行う

### キャンペーン実績

加盟店舗数は348店舗、ポイント還元総額は4ペイメント合計で51,602,396円という結果に。  
キャンペーン決済金額（上山市における経済効果）はおよそ516,023,960円以上となった。

加盟店数（店舗）	ポイント還元総額（円）	決済総額（円） 想定
348	51,602,396	516,023,960 以上想定

### 総括

キャンペーン全体の動きとしては、出だしが順調だったがその後は横ばいで推移。延長後、終了直前（年末）に伸びたが、例年のようなキャンペーン期間を通して右肩上がりに推移するような傾向は見られなかった。これは、今回のキャンペーン条件が、利用上限が期間いっぱい変わらないために序盤で利用を加速したユーザーが頭打ちとなり全体として利用が右肩上がりになりにくい構造だったためと考えられる。利用者アンケートから、全体の6%がキャンペーンに不参加で、その主な理由としては「アプリを入れていない」、「メリットを感じない」、「キャンペーンを知らなかった」という結果であった。

過去の利用者アンケートとの比較から、キャンペーンを実施しない平常時とのキャッシュレス決済「利用頻度」および「利用金額」の変化を分析したところ、年々、キャンペーン時と平常時の変化の差が少なくなっており、キャッシュレス決済が日常に浸透してきていることが分かる。計8回実施した利用者説明会での質問も使い慣れた上での内容が多く、利用に関する市民の習熟度はかなり高まっていると感じる。事業者もキャンペーンに合わせて特別な商品セットを作ったり、SNSでの告知を行ったりなど、キャンペーンに合わせた独自の対応もされており、利用者・事業者ともに“自走化”が始まっていると読み取れる。

次回実施にあたっては、キャンペーン条件の見直しと利用者・事業者に向けた開始前の十分な告知が重要な要素と考えられる。